

# 令和5年度 授業改善推進プラン 生活科

## 1 授業の検証

- ◎花や野菜を育てる活動を通して、植物の成長の様子や変化に気付くとともに、栽培の喜びを味わい大切に育てることができた。観察時は五感を意識させて観察させることができた。
- ◎校庭や地域の公園などを活用し、実を採取したり、遊んだりするなどの体験活動を多く取り入れることで児童が生き生きと活動できた。
- ◎2年生は、1年生や地域と意欲的に関わり、交流することができた。1年生は学校探検などを通じて、教職員や他学年児童と関わり、交流することができた。
  - ・言葉や絵などで表現することを苦手とする児童が見られた。
  - ・活動の中で、自分たちの生活との関わりについて十分な気付きに至っていないことが見られた。

## 2 課題点

- ・素直に考えたり、表現したりしているが、言葉や絵などで相手に分かりやすく表現しようという意識や、事象を正確に表現する力を育成することが課題である。
- ・めあてにそった学習活動ができていない児童への指導や支援の工夫が課題である。
- ・自分たちの生活との関わりについて十分な気付きに至っていないことが課題である。

## 3 授業改善策

- ① 授業では、「見る」「聞く」「触る」「味わう」「嗅ぐ」などの具体的な活動を通して観察し、表現する力を付ける。また、様々な発表形態を示すことにより、自分に適した表現方法を見付け、考えや思いを表現できるようにする。虫眼鏡など観察を補助する道具を積極的に使用していく。タブレットを活用した学習をさらに取り入れる。
- ② 学習に際しては、活動のめあてを立て、学習の中でその都度、めあてを振り返り確認させることを重視し指導する。
- ③ 体験活動や人々と関わりをもつ活動を継続していく。児童自ら主体的に学び、友達と共に協同的に学べるよう指導する。同学年、異学年、身近な人々との交流活動をできる範囲で計画し、友達と気付いたことを伝え合い、交流することで、一人一人の気付きを高められるようにする。